
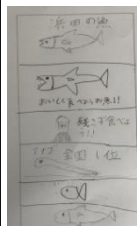


周布公民館（ふるさと郷育・海洋教育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p>かけがえのない“海”を知ろう！ ～周布小学校の児童及び保護者・地域住民～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>“海”を身近に感じることで、自然に抱かれた“ふるさと浜田”を知る</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛（郷土の自然（海）を認識する） 思考力（課題を思考する力）</p>
<p>◎ 日 時；令和2年8月4日（火）9：00～13：00 ◎ 場 所；島根県立 浜田水産高等学校 ◎ 参加人数；周布小学校1～6年 24名</p> <p>子どもたちに「浜田の宝」である“海”を身近に感じてもらうと、島根県立浜田水産高等学校に協力してもらい実施しました。</p> <p>カッター漕艇では、一緒に漕ぐ体験もしました。「重たかったけど、お兄さんと一緒に楽しかった。」と感想がありました。</p> <p>あわしま乗船では、マリン大橋の下をくぐり「JFしまね浜田支所7号市場（高度衛生管理型荷さばき所）」周辺を巡航しました。船の中を見たり、マリン大橋を下から見たりすることができて感激しました。</p> <p>座学では、水産高校3年生が先生となり、クイズを交えながら“浜田の海”について学びました。また、後半は各班で相談しながらサバ缶のラベルを考えていきました。</p> <p>この活動を通じて、子どもたちの「海をきれいにしていきたい」「ゴミを捨てない、ごみを拾う」「ボランティア活動をしたい」など、海に対する意識が向上しました。</p> <div data-bbox="957 577 1428 795" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カッター漕艇・あわしま乗船 ・講 義 「浜田の海について」 「サバ缶詰のラベルを考えよう」 </div>  <div data-bbox="925 1265 1077 1545" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ラベル(案)</p>  </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>島根県立浜田水産高等学校 教職員・生徒・カッター部 30名 周布公民館運営推進委員 4名、児童の保護者 6名</p>
<p>振り返り (良かったこと、 反省点 など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従来に増して水産教育や水産業を広く深く学ぶことができた。講義も一方的なものではなく、水産高校の生徒が講師となり、クイズを取り入れながらすることで子どもたちの興味関心が高まる工夫がなされていた。子どもだけでなく大人も一緒に楽しく学ぶことができた。 ・魚を獲るだけでなく、加工、養殖、流通など多面的にわたる学びを計画、実施していきたい。 ・自然＝生命との関わりの学習をさらに深めていきたい。